

固定式2次元スキャナ  
AMX-845UB / AMX-845RS  
ユーザーズマニュアル



**AMEX**  
Corporation

## 改版履歴

版数	日付	改版内容
1	2022/12/26	初版発行
2	2025/03/14	AMX-845RS の仕様を追加

## 目次

1. はじめに.....	4
1.1 同梱品の確認.....	4
1.2 ■保証について.....	4
1.3 ■修理について.....	4
1.4 ■サポートについて.....	4
2. 安全上のご注意.....	5
3. 製品仕様.....	8
3.1 一般仕様.....	8
3.2 各部名称.....	9
3.3 外形寸法図.....	10
3.4 AMX-845RS インターフェースケーブル仕様.....	11
3.5 AMX-845RS USB給電ケーブル仕様.....	11
4. 読み取り範囲.....	12
4.1 視野角チャート.....	12
4.2 読み取り深度チャート.....	13
5. 操作説明.....	14
5.1 コンピュータへの接続.....	14
5.2 スキャンモード.....	14
5.3 インターフェース.....	15
5.4 読み取り方法.....	15
6. 設定モード.....	17
6.1 設定モードの概要.....	17
6.2 設定モードの開始と終了.....	17
6.3 設定手順.....	17
7. 設定用コマンドバーコード.....	18
7.1 システム設定.....	18
7.1.1 工場出荷時初期化.....	18
7.1.2 ユーザー定義パラメータの保存と復旧.....	19
7.1.3 スキャンモード.....	20
7.1.4 自動検知モード感度.....	21
7.1.5 エイミング.....	22
7.1.6 イルミネーション照度.....	23
7.1.7 ブザーの設定.....	24
7.1.8 ブザー周波数.....	25
7.1.9 デコードエリア.....	26
7.1.10 ベリファイ回数.....	27
7.1.11 デコードタイムアウト.....	28
7.1.12 同一バーコード2度読みタイムアウト.....	29
7.2 インターフェース設定 (AMX-845UB USBインターフェース).....	30
7.2.1 USBインターフェースの設定.....	30
7.2.2 HID制御文字.....	31
7.2.3 キーボード言語.....	32
7.2.4 文字コード.....	35
7.3 インターフェース設定 (AMX-845RS RS-232Cインターフェース).....	37
7.3.1 RS-232Cインターフェースの設定.....	37
7.3.2 ボーレート.....	38
7.3.3 データ長.....	39

7.3.4	パリティ.....	40
7.3.5	ストップビット.....	41
7.4	シンボル設定.....	42
7.4.1	初期設定一覧.....	42
7.4.2	全シンボル読取禁止.....	43
7.4.3	UPC-A.....	44
7.4.4	UPC-E.....	50
7.4.5	JAN/EAN-8.....	56
7.4.6	JAN/EAN-13.....	61
7.4.7	Code128/GS1-128.....	65
7.4.8	Code39.....	67
7.4.9	Code93.....	72
7.4.10	NW-7(Codabar).....	74
7.4.11	Interleaved 2 of 5.....	78
7.4.12	Matrix 2 of 5.....	81
7.4.13	GS1 DataBar 14.....	83
7.4.14	GS1 DataBar Expanded.....	86
7.4.15	GS1 DataBar Limited.....	89
7.4.16	Composite.....	91
7.4.17	PDF417.....	94
7.4.18	Data Matrix.....	96
7.4.19	QR.....	99
7.5	データフォーマットの設定.....	102
7.5.1	シンボル ID.....	102
7.5.2	プリフィックス.....	103
7.5.3	サフィックス.....	105
7.5.4	終端キャラクタ.....	107
7.5.5	Caps Lock.....	108
7.5.6	大文字/小文字変換.....	109
7.5.7	GSキャラクタ変換.....	110
7.5.8	先頭データの削除.....	111
7.5.9	終端データの削除.....	112
8.	付録.....	113
8.1	数字バーコード.....	113
8.2	シンボルバーコード.....	114
8.3	ASCIIバーコード.....	117
8.4	ファンクションキーバーコード.....	149
8.5	バージョン番号出力.....	153
8.6	シンボルID一覧.....	154
8.7	設定一覧と初期値.....	156

---

# 1. はじめに

このたびは固定式2次元スキャナ「AMX-845UB」および「AMX-845RS」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本書は、本製品のハードウェア、ソフトウェアの使い方について説明しています。ご使用前に本書をよくお読みになり、本製品を正しくお使いください。

- ・ Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ Google、Android は、米国 Google Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- ・ Apple、iPhone、iPad は、米国 Apple Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- ・ その他、本マニュアルに記載されている製品名および会社名は、それぞれの企業の登録商標または商標です。
- ・ 本マニュアルの著作権はアイメックス株式会社にあり、本マニュアルの一部または全てを無断で使用、複製することは著作権法により禁じられております。
- ・ 本製品の仕様に関しては、将来予告無しに変更することがあります。

---

## 1.1 同梱品の確認

本製品の梱包内容は、下記のようになっています。ご確認の上、万一不足、破損品がありましたら、お買い上げの販売店までご連絡ください。

<AMX-845UB 梱包内容>

◆AMX-845UB 本体 1 台 インターフェースケーブル(USB)付き

<AMX-845RS 梱包内容>

◆AMX-845RS 本体 1 台 インターフェースケーブル(RS-232C 通信・給電)付き

◆USB 給電ケーブル 1 本

---

## 1.2 ■ 保証について

製品の無償保証期間は、ご購入日より1年間とさせていただきます。

ただし、無償期間中でもお客様のお取扱いによる故障、損傷などは有償になります。また、本製品の運用の結果生じた損失・損害については、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

---

## 1.3 ■ 修理について

製品の修理は全て送付バック方式で行わせていただきます。

修理が必要になった場合はお買い上げの販売店までご連絡ください。

修理に関するお問い合わせは、弊社 WEB サイトのお問い合わせの「修理依頼」に入力してください。

---

## 1.4 ■ サポートについて

保証・保守・修理サポートについての詳細は、弊社ホームページ

<https://www.aimex.co.jp/support>

をご覧ください。

## 2. 安全上のご注意

ご使用前に本書をよくお読みになり、ご使用の際には事故につながるような使い方をしないように心がけてください。

表示された内容に従わず、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。

### 危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が生じることが想定される緊急性が高い内容を示しています。




### 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。







### 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が発生したりすることが想定される内容を示しています。







「ご注意」には、次の記号で内容の区分を示しています。

	「禁止」事項を表します。この記号が付いた行為等は、行わないでください。
	「強制」事項を表します。この記号が付いた行為等は、必ず行ってください。
	注意していただきたい事項です。この記号が付いた行為等にはご注意ください。








## ⚠ 危険

	<p>高温になる場所（火や暖房器具のそば、炎天下など）、湿気やほこりの多い場所、引火性ガスの発生する場所で、使用、放置、充電はしないでください。 発熱、破裂、発火、故障の原因になります。</p>		<p>電子レンジや高圧容器などの中に入れてください。 発熱、破裂、発火、故障の原因になります。</p>
	<p>火の中に投入したり、加熱したりしないでください。 発熱、破裂、発火、故障の原因になります。</p>		<p>コネクタの端子をショートさせたり、ハンダ付けしたりしないでください。 発熱、破裂、発火、故障の原因となります。</p>
	<p>水や海水などに浸けたり、濡らしたりしないでください。 発熱、破裂、発火、故障の原因になります。</p>		<p>濡れている状態では、使用しないでください。 発熱、破裂、発火、故障の原因になります。</p>

## ⚠ 警告

	<p>発熱・発煙・異臭などが発生した時は、直ちに使用を中止し、乾電池を外してください。 そのまま使用すると、発熱、発火の原因になります。</p>		<p>落下や投げつけなどで、強い衝撃を与えないでください。 発熱、破裂、発火、故障の原因になります。</p>
	<p>本体内部に異物を入れないでください。 本体内部に異物や液体が入った場合は使用を中止し、お買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、感電、火災、故障の原因になります。</p>		<p>分解、改造をしないでください。 けがや感電、火災などの事故または故障の原因になります。内部の点検、調整はお買い上げの販売店にご依頼ください。 改造などにより生じた問題については、一切の責任を負いかねます。</p>
	<p>高精度な制御や微弱な信号を扱う電子機器の近くでは使用しないでください。 電子機器（医療用電子機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など）が誤動作するなどの影響を与えることがあります。</p>		<p>本体内部に異物を入れないでください。 本体内部に異物や液体が入った場合は使用を中止し、お買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、感電、火災、故障の原因になります。</p>

## ⚠ 注意

	不安定なところに置かないでください。 けがや故障の原因になります。		乳幼児の手の届くところに置かないでください。 けがなどの原因になります。
	PC、蛍光灯、電子レンジなど、ノイズを発する機器からはなるべく離して使用してください。 ノイズの影響により正常に読み取りや通信ができなくなる場合があります。		必ず固定された状態で操作してください。 不安定な状態で操作をすると機器の故障や誤動作の原因となります。
	磁石、ブザー、スピーカー、ブラウン管、RFIDアンテナの近くなど、強い磁界が発生する恐れがあるところで使用、保管しないでください。 本体の誤動作や故障の原因になります。		水をかけたりしないでください。 本体は水没、噴射水に対し保護されません。内部に水が入り感電、火災などの事故または故障の原因になります。
	<p>本製品は、事務用、産業用などの一般的用途を想定したものであり、以下のように高度な安全性が要求される用途での使用を想定した製品ではありません。</p> <p>陸上／海上／航空輸送／交通の運行制御管理／原子力核施設の制御管理／生命維持装置の制御管理など</p> <p>弊社は、このような生命、人体、環境に対し重大な危険性を伴う用途での使用により発生した損害に対し、いかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。</p>		



## 3. 製品仕様

### 3.1 一般仕様

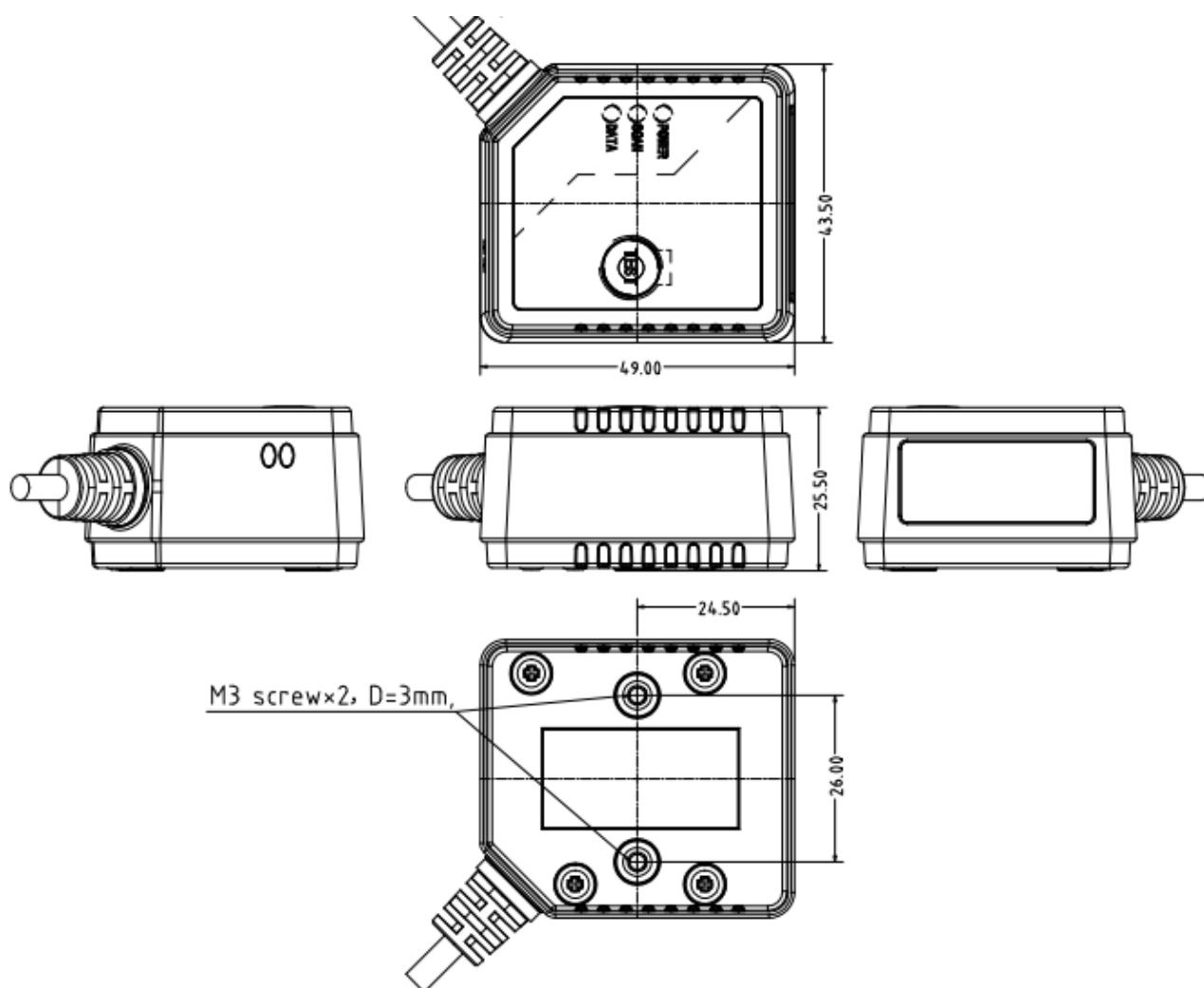
項目		仕様	
モデル名		AMX-845UB	AMX-845RS
キー		全 1 個 (TEST キー)	
LED		全 3 個 (POWER/SCAN/DATA)	
ブザー		あり	
スキャナ部	読み取り方式	640×480 イメージセンサ	
	読み取り照明	白色 LED	
	エイマー	赤色 LED	
	分解能	1D : 0.1016mm 2D : 0.1778mm	
	PCS	0.2 以上	
	読取深度	35~140mm (Code39 0.127mm 時) 55~300mm (JAN 0.33mm 時) 45~190mm (QR 0.381mm 時)	
	視野角	38° (水平) × 25° (垂直)	
	傾斜読み取り	スキュー : ±60° ピッチ : ±60° ロール : ±360°	
	読取コード (1D)	JAN/EAN-13, JAN/EAN-8, UPC-A/E, ITF (Interleaved2of5), NW-7 (Codabar), Code39, Code93, Code128/GS1-128, Matrix2of5, GS1 DataBar (14/Expanded/Limited) Composite (CC-A/CC-B/CC-C)	
	読取コード (2D)	PDF417, Micro PDF417, Data Matrix, QR, Micro QR	
インターフェース		USB HID キーボード または USB-COM	RS-232C
寸法		43.5 (W) × 49 (D) × 25.5 (H) mm	
重量		約 86g (ケーブル含む)	約 133g (ケーブル含む)
消費電流	動作時	110mA±5% (Typical)、210mA±5% (MAX.)	
	待機時	45mA±5%	
環境性能	使用温度	0°C~40°C	
	使用湿度	5~95% (但し結露無きこと)	
	保存温度	-40°C~70°C	
	保存湿度	5~95% (但し結露無きこと)	
	周囲光照度	蛍光灯 : 8,600 lx 以下 太陽光 : 100,000 lx 以下	

## 3.2 各部名称



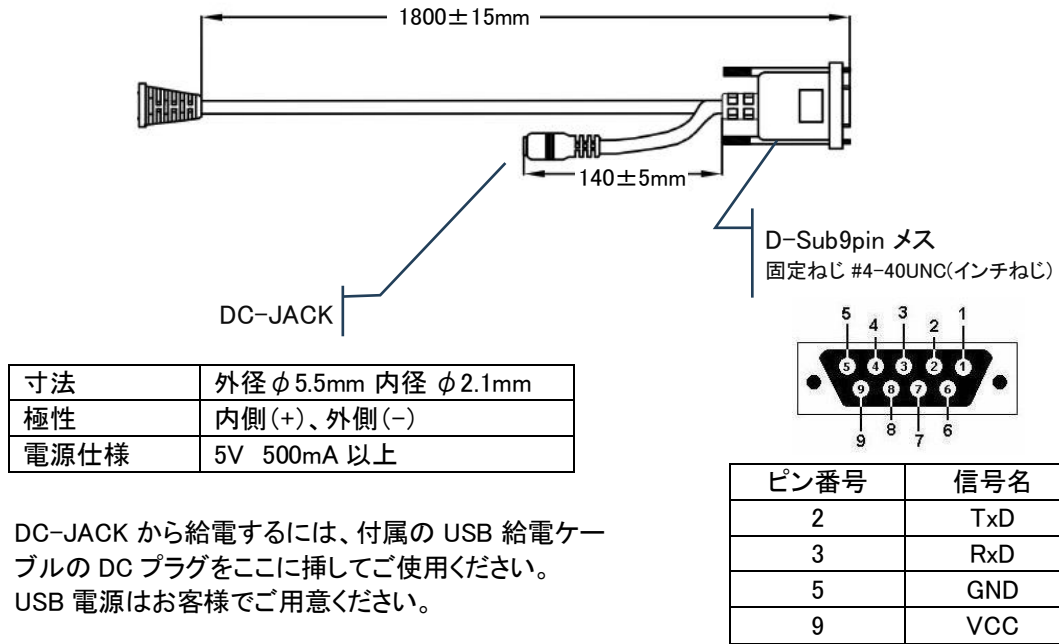
No.	名称	機能
①	TEST キー	トリガモードで使用する際バーコード読み取りスイッチに使用します。
②	読み取りウィンドウ	バーコードデータと設定変更用バーコードの入力に使用します。
③	インターフェースケーブル	電源供給およびデータ転送用にホスト PC と接続します。
④	DATA LED	読み取り後データ転送時に緑色点灯します。
⑤	SCAN LED	読み取り可能な状態の時に青色点灯します。
⑥	POWER LED	USB ケーブルがホスト PC と接続された状態の時に赤色点灯します。

### 3.3 外形寸法図



※スキャナユニットは底面のネジ穴などを利用して固定して使用してください。

### 3.4 AMX-845RS インターフェースケーブル仕様



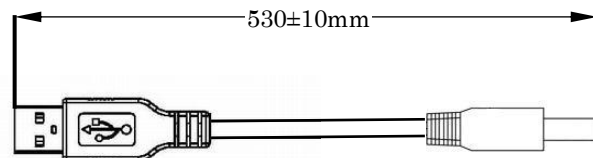
DC-JACK から給電するには、付属の USB 給電ケーブルの DC プラグをここに挿してご使用ください。  
USB 電源はお客様でご用意ください。

D-Sub9pin コネクタの 9 番ピンからも給電できます。

電源仕様	5V 500mA 以上
------	-------------

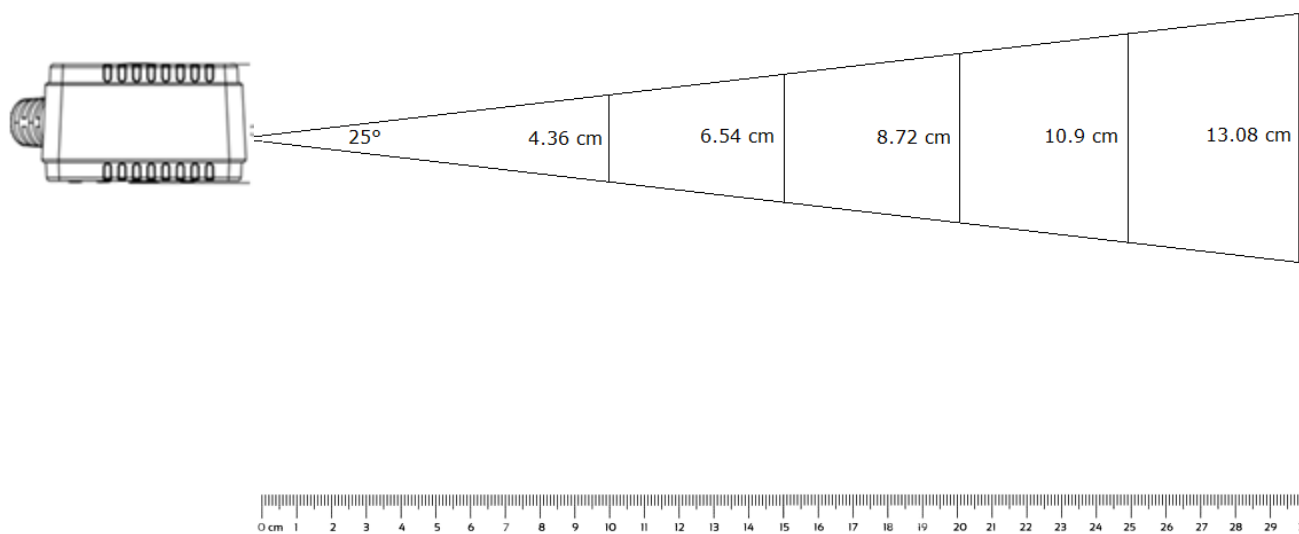
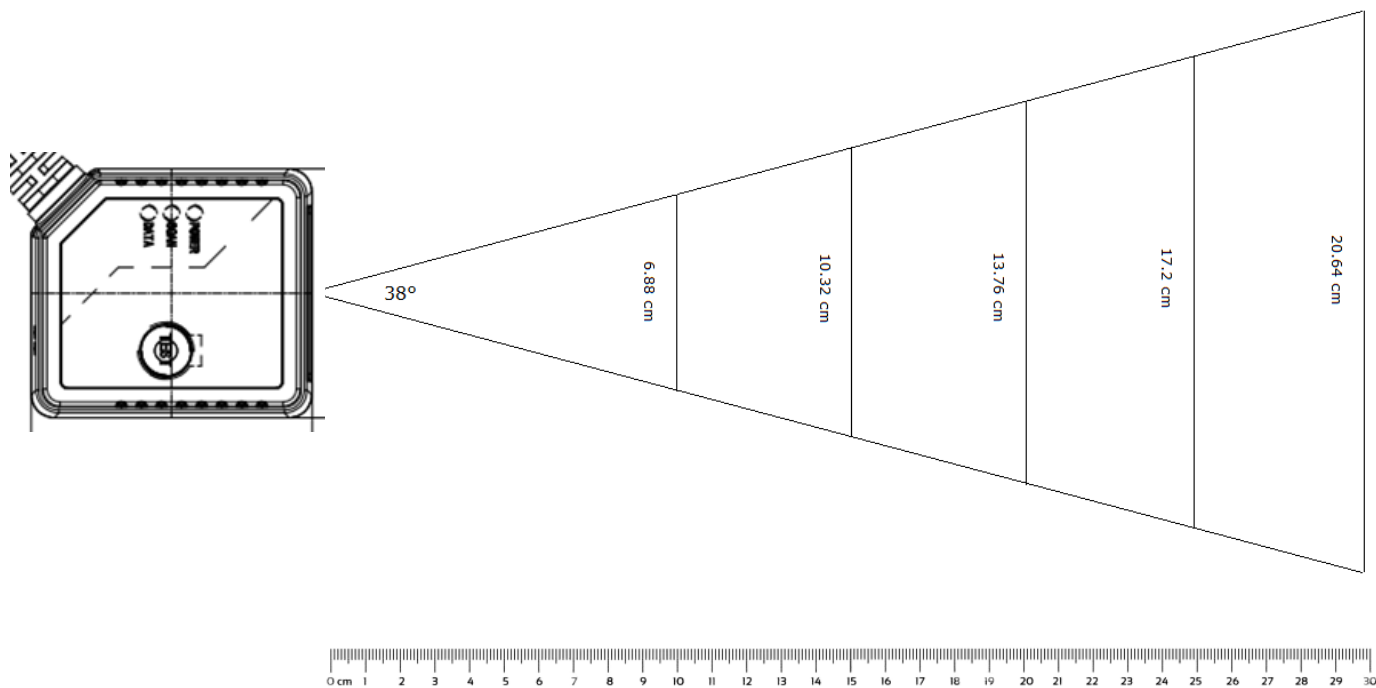
9 番ピンに与える電圧は 5V にしてください。これ以上高い電圧を加えると、機器が破損します。

### 3.5 AMX-845RS USB給電ケーブル仕様

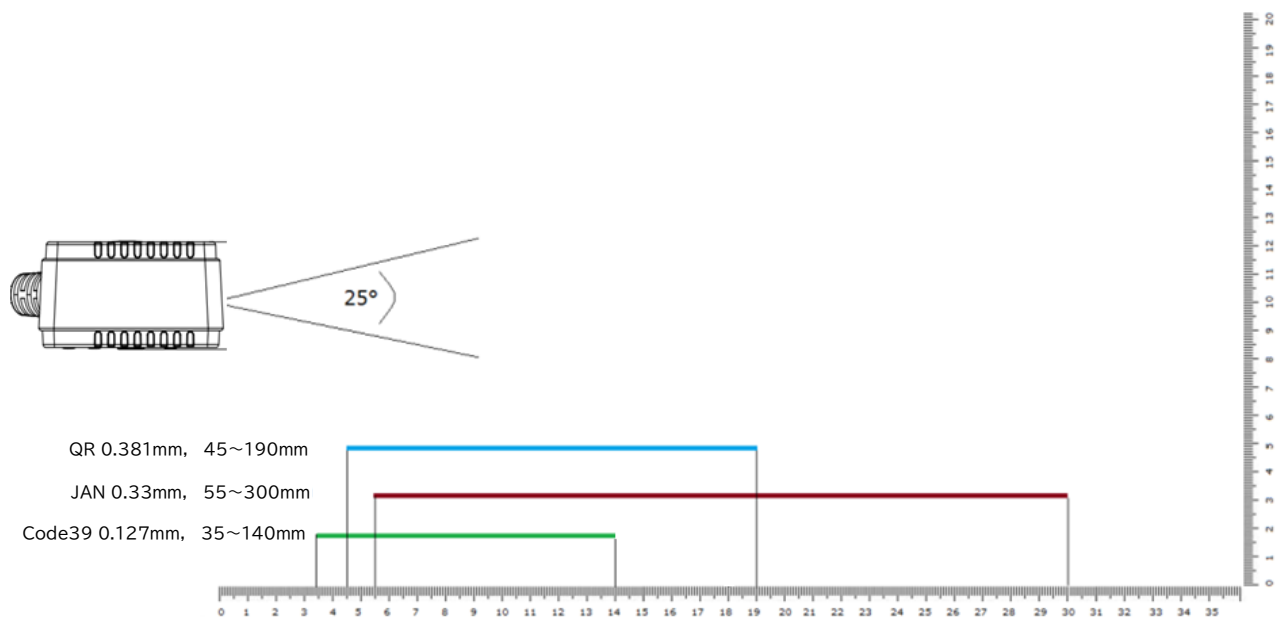


## 4. 読み取り範囲

### 4.1 視野角チャート



## 4.2 読み取り深度チャート



## 5. 操作説明

### 5.1 コンピュータへの接続

本製品は、インターフェースケーブルから電源を供給します。

AMX-845UB は USB でホストと接続します。USB コネクタをコンピュータへ接続すると、「ピロリッ」とブザーが鳴り、動作可能状態となります。

AMX-845RS は RS-232C でホストと接続します。DC ジャックか RS-232C コネクタのどちらかから 5V500mA の電源を給電すると、同じくブザーが鳴り、動作可能状態となります。DC ジャックから給電する場合は、同梱品の USB 給電ケーブルを使用してください。USB 電源はお客様でご用意ください。

正常に認識されると、POWER LED が赤色に点灯します。

### 5.2 スキャンモード

バーコードの入力方法として、3つのスキャンモードが用意されています。

下表の通り、モードによってスキヤナの動作が異なります。

デフォルト設定は「自動検知モード」になっていますので、対象となるバーコードに読み取りウィンドウを向けると読み取り動作となります。

モード名	動作	デフォルト
自動検知モード	スキヤナ内蔵のセンサにて、“バーコードらしきもの”や被写体の動きを認識するとスキャン処理へ移行するモードです。TEST キーON で強制的に読み取り状態とすることも可能です。 バーコードを読み取るか、タイムアウトするか、スキャン停止指示 (TEST キーOFF またはスキャン停止コマンド送信) で待機状態に戻ります。	☆
連続モード	常にスキャン処理を行うモードです。 バーコード読み取り後は自動的に次のスキャン処理へ移行します。	
トリガモード	スキヤナの TEST キーまたはトリガコマンド主導で、外部から指示を出したときのみスキャン処理を行うモードです。バーコードを読み取るか、タイムアウトするか、スキャン停止指示 (TEST キーOFF またはスキャン停止コマンド送信) で待機状態に戻ります。	

参  
考

スキャンモードの設定変更方法については「7.1.3 スキャンモード」をご覧ください。

## 5.3 インターフェース

読み取ったデータをコンピュータへ送信するためのインターフェースとして、AMX-845UB では“HID キーボード”または“USB-COM”の 2 種類から選択することができます。

デフォルト設定は「HID キーボード」になっていますので、読み取ったデータはキーボードと同様に、任意のアプリケーションに入力が可能です。

モード名	動作	デフォルト
HID キーボード	USB キーボードとして認識されます。 読み取ったバーコードデータはキーボードからの入力と同様に処理されます。	☆
USB-COM	USB 仮想 COM として認識されます。 読み取ったバーコードデータは COM ポートからのシリアル入力と同様に処理されます。	

### 参考

インターフェースの設定変更方法については「7.2.1 USB インターフェースの設定」をご覧ください。

AMX-845RS では、RS-232C インターフェースで動作します。

### 注意

誤って、AMX-845UB に RS-232C の設定をしてしまった場合、あるいは、AMX-845RS に USB の設定をしてしまった場合、内部的には設定が切り替わってしまう一方、インターフェースケーブルが異なるため、通信できなくなります。

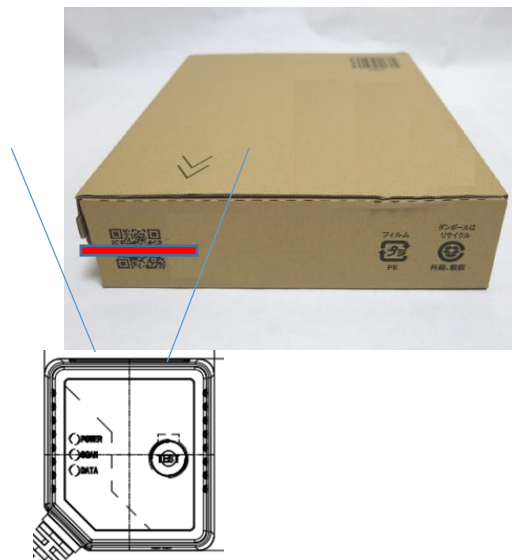
その場合は、[7.2.1 USB インターフェースの設定]および[7.3.1 RS-232C インターフェースの設定]で正しいインターフェース設定に戻してください。

## 5.4 読み取り方法

下図のように、読み取りウィンドウの前方にバーコードをかざします。

スキャナは「5.2 スキャンモード」の設定に従って読み取り状態となり、読み取り照明を照射してバーコードを読み取ります。

赤色の線状の光はエイミング光です。エイミング光は読み取り範囲のおおよその中心位置を示します。読み取り照明は白色で、四角形で広範囲に前面を照らします。





注 意	<p>読み取り可能範囲は読み取り照明の照射範囲より狭くなっています。</p>
	<p>バーコードシンボルとスキャナの距離は、シンボルの大きさなどにより適切な距離が変わってきます。読み取りが悪いと感じる場合は、距離を変えてお試しください。</p>
	<p>コードは全方向どちらの向きでも読み取り可能ですが、マージンを含めて視野に確実に入る位置で読み取ってください。</p>
	<p>スキャナの読み取り照明光や室内光とシンボルの角度によっては、反射した光が部分的に強くなる鏡面反射が起こって読み取りできないことがあります。この場合はシンボルとスキャナの角度や距離を変えてお試しください。</p>

## 6. 設定モード

### 6.1 設定モードの概要

設定モードは、「設定モード ON」というバーコードを読み取らせることで、本製品の設定を変更するためのモードです。「設定モード ON」を読んだ後、設定用のコマンドバーコードを読み取り、最後に「設定モード OFF」を読むと設定した内容が確定されます。

設定用モードで設定したパラメータは、本製品の不揮発性メモリに保存され、電源をオフしても初期化されることはありません。

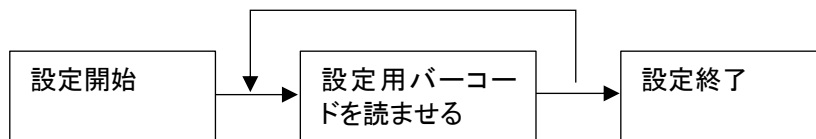
### 6.2 設定モードの開始と終了

設定モードを開始/終了するには、以下の操作を行います。

- ① バーコード読取状態で各ページの左上にある「設定モード ON」を読み取ります。
- ② ブザーが“ピピーツ”と鳴って設定モードに入ったことを通知します。
- ③ 設定用のコマンドバーコードを読み取ります。
- ④ 設定変更が終了したらページ右下にある「設定モード OFF」を読み取ります。
- ⑤ 起動時と同じく“ピロリツ”とブザーが鳴り、設定した内容が確定されます。
- ⑥ その後通常の読み取りモードに戻ります。

### 6.3 設定手順

設定モードでは、複数の設定用コマンドバーコードを読ませて連続で設定変更ができます。



設定変更は、「設定モード OFF」を読み取るまで確定されません。

間違ったコマンドバーコードを読んってしまった場合は、その後に正しいコマンドバーコードを読ませてください。

## 7. 設定用コマンドバーコード

本章では設定用コマンドバーコードを項目別にまとめています。☆印は初期値を示します。  
設定方法は、左上の「設定モード ON」のバーコードを読み取った後、各設定項目のコマンドバーコードを読み取り、最後に右下の「設定モード OFF」のバーコードを読み取ると設定内容が確定されます。

### 7.1 システム設定

#### 7.1.1 工場出荷時初期化



設定モード ON

設定を全て初期化し、工場出荷時の状態に戻します。

「7.2.1USB インターフェースの設定」および「7.3.1RS-232C インターフェースの設定」で選択したインターフェース種別については、本コマンド実行後も初期化されません。初期化する直前のインターフェース種別のままとなります。



工場出荷時初期化

設定モード OFF



## 7.1.2 ユーザー定義パラメータの保存と復旧

---



設定モード ON

---

ユーザー定義のパラメータを不揮発性メモリに保存したり、その内容を復旧することができます。  
「ユーザー定義パラメータの保存」を実行すると、現在設定されているパラメータが一括で不揮発性メモリに保存されます。  
「ユーザー定義パラメータの復旧」を実行すると、保存されたパラメータが不揮発性メモリから復旧されます。



ユーザー定義パラメータの保存



ユーザー定義パラメータの復旧

---

設定モード OFF



### 7.1.3 スキャンモード

---



設定モード ON

---

スキャンモードを以下の 3 種類から選択します。

#### 自動検知モード

スキャナ内蔵のセンサにて、“バーコードらしきもの”や被写体の動きを認識するとスキャン処理へ移行するモードです。TEST キー ON で強制的に読み取り状態とすることも可能です。

バーコードを読み取るか、タイムアウトするか、スキャン停止指示 (TEST キー OFF またはスキャン停止コマンド送信) で待機状態に戻ります。

#### 連続モード

常にスキャン処理を行うモードです。

バーコード読み取り後は自動的に次のスキャン処理へ移行します。

#### トリガモード

スキャナの TEST キーまたはトリガコマンド主導で、外部から指示を出したときのみスキャン処理を行うモードです。バーコードを読み取るか、タイムアウトするか、スキャン停止指示 (TEST キー OFF またはスキャン停止コマンド送信) で待機状態に戻ります。



☆自動検知モード



連続モード



トリガモード

---

設定モード OFF



## 7.1.4 自動検知モード感度

---



設定モード ON

---

スキャンモードで自動検知モードを選択した場合の検知感度を以下の3種類から選択します。

Low	低感度
Medium	標準感度
High	高感度



Low



☆Medium



High

---

設定モード OFF



## 7.1.5 エイミング



設定モード ON

エイミング光(赤色)の発光タイミングを以下の 3 種類から選択します。

- |               |   |
|---------------|---|
| 常時 ON         | スキャナの電源 ON の間、常にエイミングが ON になります。<br>ただしトリガモードの時は省電力モードに入るため 10 秒後に OFF になります。 |
| 読み取り同期<br>OFF | スキャナが読み取り状態の時、読み取り照明と同期してエイミングが ON になります。<br>エイミングは常時 OFF になります。              |



☆常時 ON



読み取り同期



OFF

設定モード OFF



## 7.1.6 イルミネーション照度

---



設定モード ON

---

読み取り照明(白色)の照度を以下の3種類から選択します。

最小	最小照度で点灯します。
中間	中間照度で点灯します。
最大	最大照度で点灯します。



最小



中間



☆最大

---

設定モード OFF





## 7.1.7 ブザーの設定

---



設定モード ON

---

ブザー音の鳴動を設定します。

- ON 読み取り時のブザー鳴動を許可します。
- OFF 読み取り時のブザー鳴動を禁止します。



☆ON



OFF

---

設定モード OFF



## 7.1.8 ブザー周波数

---



設定モード ON

---

ブザー鳴動周波数を設定します。



800Hz



1600Hz



☆2730Hz



4200Hz

---

設定モード OFF

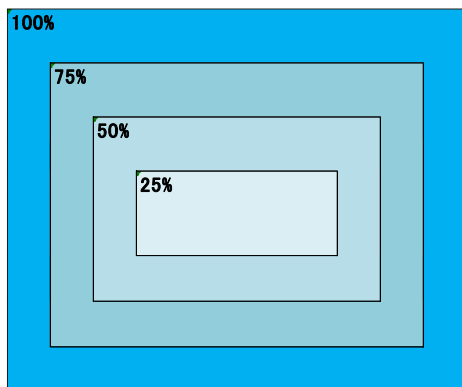


## 7.1.9 デコードエリア



設定モード ON

取り込んだ画像のうち、デコード対象とする範囲を設定します。  
比率を小さくすると、画像の中央に向けて絞り込みが行われます。“エイミングバーコード”を選択するとエイミング光(赤色)の当たっているシンボルが対象となります。



☆100%



75%



50%



25%



エイミングバーコード

設定モード OFF



## 7.1.10 ベリファイ回数

---



設定モード ON

---

バーコード読み取り時の照合回数を設定します。

多くするほどチェックが厳しくなります。

少なくするほど読み取りやすくなりますが、誤読のリスクも大きくなります。



なし



☆2回



3回

---

設定モード OFF



### 7.1.11 デコードタイムアウト

---



設定モード ON

---

読み取り状態になってから、タイムアウトするまでの時間を設定します。

自動検知モードの場合、スキャナは読み取り状態になると、バーコードを読み取るか、タイムアウト時間が経過するまで読み取り状態を維持します。

タイムアウト時間は 1msec から 3,600,000msec までの値を設定することができます。

“0”に設定するとタイムアウトは無しになります。デフォルト値は 3,000msec です。

(設定例) デコードタイムアウト時間を 1,000msec に設定する場合

- ①「設定モード ON」を読み取る。
- ②「デコードタイムアウト」を読み取る。
- ③数字バーコードの「1」を読み取る。
- ④数字バーコードの「0」を読み取る。
- ⑤数字バーコードの「0」を読み取る。
- ⑥数字バーコードの「0」を読み取る。
- ⑦「設定モード OFF」を読み取る。



デコードタイムアウト(msec)

---

設定モード OFF



## 7.1.12 同一バーコード2度読みタイムアウト



設定モード ON

自動検知モードおよび連続モードにおいて、同一バーコードを連続で読み取る際のタイムアウト時間を設定します。一度バーコードを読み取ると、ここで設定されたタイムアウト時間が経過するまで同一のバーコードは読み取りません。

タイムアウト時間は 1msec から 5,000msec までの値を設定することができます。

“0”に設定するとタイムアウトは無しになります。デフォルト値は 300msec です。

10ms 以下、または、1000ms 以上の場合は読み取り直後からカウントが開始されます。

10ms～1000ms の場合は、一旦バーコードから離れてからカウントが開始されます。

(設定例) 2度読みタイムアウト時間を 250msec に設定する場合

- ①「設定モード ON」を読み取る。
- ②「2度読みタイムアウト」を読み取る。
- ③数字バーコードの「2」を読み取る。
- ④数字バーコードの「5」を読み取る。
- ⑤数字バーコードの「0」を読み取る。
- ⑥「設定モード OFF」を読み取る。



二度読みタイムアウト(msec)

設定モード OFF



## 7.2 インターフェース設定 (AMX-845UB USBインターフェース)

### 7.2.1 USBインターフェースの設定



設定モード ON

USB インターフェースのデータ入力方法を以下の 2 種類から選択します。

#### HID キーボード

USB キーボードとして認識されます。

読み取ったバーコードデータはキーボードからの入力と同様に処理されます。

#### USB-COM

USB 仮想 COM として認識されます。

読み取ったバーコードデータは COM ポートからのシリアル入力と同様に処理されます。

本設定は、AMX-845UB(USB インターフェースモデル)でのみ設定してください。

AMX-845RS(RS-232C インターフェースモデル)では設定しないでください。誤って設定してしまった場合、機器の内部的に USB 設定に切り替わってしまい、ホストと通信できなくなります。この場合、元に戻すためには、[7.3.1 RS-232C インターフェースの設定]でインターフェース設定を RS-232C に戻してください。



☆HID キーボード



USB-COM

設定モード OFF



## 7.2.2 HID制御文字



設定モード ON

ASCII キャラクタのうち 0x20 以下のキャラクタ(制御文字)は表示可能な文字が割り当てられていません。HID キーボード選択時に、バーコードに制御文字が含まれていた場合、どのような方法で入力するかを設定します。

### 無効

表示できない制御文字は無視されます。

### コントロールキーモード

表示できない制御文字はコントロールキーの組み合わせで出力されます。(例…BEL: CTRL+G)

### ALT+Unicode モード

表示できない制御文字は ALT+Unicode の組み合わせで出力されます。(例…BEL: ALT+0007)



無効



☆コントロールキーモード



ALT+Unicode モード

設定モード OFF





### 7.2.3 キーボード言語



設定モード ON

スキャナを接続するホスト PC で使用するキーボード言語を設定します。キーボードは国または言語によって配列が異なります。正しく設定されない場合、読み取り結果が誤って出力されます。デフォルト設定は「日本語キーボード」です。



アメリカ



イギリス



ブラジル



ベルギー



ブルガリア



クロアチア



チェコ



☆日本

設定モード OFF





設定モード ON



デンマーク



フランス



ドイツ



ハンガリー



イタリア



ノルウェー



ポルトガル



ポーランド

設定モード OFF





設定モード ON



ロシア



ルーマニア



スペイン



スイス



スウェーデン



ベトナム



トルコ Q



トルコ F

設定モード OFF



## 7.2.4 文字コード



設定モード ON

スキャナが使用する文字コードを設定します。

本設定と読み取りシンボル、ホスト PC のアプリケーションで使用するコードはすべて一致している必要があります。

デフォルト設定は「Shift-JIS (Excel, メモ帳)」です。「Shift-JIS (Word)」を選択すると、Shift-JIS で作成されたバーコードを、Word 等 Unicode 系のアプリケーションに入力することができます。



☆Shift-JIS (Excel, メモ帳)



Shift-JIS (Word)



Big-5 (Excel, メモ帳)



Big-5 (Word)



ハングル (Excel, メモ帳)



ハングル (Word)

設定モード OFF





設定モード ON



タイ語



キリル語



トルコ語



ギリシャ語



西ヨーロッパ ラテン語



中央/東ヨーロッパ ラテン語



ヘブライ語



ベトナム語

設定モード OFF



## 7.3 インターフェース設定 (AMX-845RS RS-232Cインターフェース)

### 7.3.1 RS-232Cインターフェースの設定



設定モード ON

インターフェース設定を RS-232C に設定します。

AMX-845RS(RS-232C インターフェースモデル)では、最初から RS-232C に設定されているため、本設定を行う必要はありません。

誤って[7.2.1 USB インターフェースの設定]で USB インターフェースに設定してしまった際に、元の RS-232C 設定に戻すために使用してください。

AMX-845UB(USB インターフェースモデル)では設定しないでください。誤って設定してしまった場合、機器の内部的に RS-232C 設定に切り替わってしまい、ホストと通信できなくなります。この場合、元に戻すためには、[7.2.1 USB インターフェースの設定]でインターフェース設定を USB の HID キーボードか USB-COM に戻してください。



☆RS-232C

設定モード OFF



### 7.3.2 ボーレート

---



設定モード ON

---

RS-232C のボーレートを設定します。ホスト PC が要求している値に合わせてください。



☆9600bps



19200bps



38400bps



57600bps



115200bps



230400bps

---

設定モード OFF



### 7.3.3 データ長

---



設定モード ON

---

RS-232C のデータ長を設定します。ホスト PC が要求している値に合わせてください。



7bit



☆8bit

---

設定モード OFF





### 7.3.4 パリティ

---



設定モード ON

---

RS-232C のパリティを設定します。ホスト PC が要求している値に合わせてください。



☆なし



奇数パリティ



偶数パリティ

---

設定モード OFF



### 7.3.5 ストップビット

---



設定モード ON

---

RS-232C のストップビットを設定します。ホスト PC が要求している値に合わせてください。



☆1bit



2bit

---

設定モード OFF



## 7.4 シンボル設定

### 7.4.1 初期設定一覧

シンボル	読み取り	C/D の転送	C/D の計算	その他の項目
UPC-A	○	○	—	
UPC-E	○	○	—	
JAN/EAN-8	○	○	—	
JAN/EAN-13	○	○	—	
Code128/GS1-128	○	—	—	
Code39	○	×	×	スタート/ストップを出力しない
Code93	○	—	—	
NW7(Codabar)	○	×	×	スタート/ストップを出力しない
Interleaved 2 of 5	○	×	×	
Matrix 2 of 5	×	×	×	
GS1 DataBar 14	○	—	—	
GS1 DataBar 14 Stacked	○	—	—	
GS1 DataBar Expanded	○	—	—	
GS1 DataBar Expanded Stacked	○	—	—	
GS1 DataBar Limited	○	—	—	
Composite CC-A	×	—	—	
Composite CC-B	×	—	—	
Composite CC-C	×	—	—	
PDF417	○	—	—	
Micor PDF417	○	—	—	
Data Matrix	○	—	—	
QR	○	—	—	
Micro QR	○	—	—	

※1 「読み取り」欄の「○」は許可、「×」は禁止を表します。

※2 「C/D の転送」欄の「○」は転送する、「×」は転送しない、「—」は設定が無いことを表します。

※3 「C/D の計算」欄の「○」は計算する、「×」は計算しない、「—」は設定が無いことを表します。

## 7.4.2 全シンボル読取禁止

---



設定モード ON

---

全シンボルの読み取りを禁止にします。

特定のシンボルのみを読み取り可能にしたい場合は、本設定コードで一旦全シンボルを読み取り禁止にし、その後に使用するシンボルの読み取りのみ個別に許可してください。



全シンボル読取禁止

---

設定モード OFF



---

### 7.4.3 UPC-A

---



設定モード ON

---

UPC-A の読み取り許可/禁止を設定します。



☆UPC-A 読み取り許可



UPC-A 読み取り禁止

---

設定モード OFF





設定モード ON

UPC-A のシステムキャラクタの付加を設定します。

「付加する」を選択した場合、12 桁で出力されます。「付加しない」を選択した場合、先頭 1 桁を除いた 11 桁で出力されます。(※チェックディジット出力有りの時)



☆UPC-A のシステムキャラクタを付加する



UPC-A のシステムキャラクタを付加しない

設定モード OFF





設定モード ON

UPC-A のチェックディジットの出力を設定します。

「出力しない」を選択した場合、データの最後のチェックディジットが削除されます。



☆UPC-A のチェックディジットを出力する



UPC-A のチェックディジットを出力しない

設定モード OFF





設定モード ON

UPC-A を JAN/EAN-13 形式に変換するかどうかを設定します。  
「変換する」を選択した場合、先頭にシステムキャラクタとカントリーコードを付与した 13 桁で出力されます。



UPC-A を JAN/EAN-13 形式に変換する



☆UPC-A を JAN/EAN-13 形式に変換しない

設定モード OFF







設定モード ON

UPC-A のアドオンコードの読み取り許可/禁止を設定します。



UPC-A のアドオンコードの読み取りを許可する



☆UPC-A のアドオンコードの読み取りを禁止する

設定モード OFF





設定モード ON

前項で UPC-A のアドオンコードの読み取り許可を選択した場合、アドオンコード付きを必須条件とするかどうかを設定します。



UPC-A のアドオンコード付きのみ読み取る



☆UPC-A のアドオンコードを必須としない

設定モード OFF



---

## 7.4.4 UPC-E

---



設定モード ON

---

UPC-E の読み取り許可/禁止を設定します。



☆UPC-E 読み取り許可



UPC-E 読み取り禁止

---

設定モード OFF





設定モード ON

UPC-E のシステムキャラクタの付加を設定します。

「付加する」を選択した場合、8 桁で出力されます。「付加しない」を選択した場合、先頭 1 桁を除いた 7 桁で出力されます。(※チェックディジット出力有りの時)



☆UPC-E のシステムキャラクタを付加する



UPC-E のシステムキャラクタを付加しない

設定モード OFF





設定モード ON

UPC-E のチェックディジットの出力を設定します。  
「出力しない」を選択した場合、データの最後のチェックディジットが削除されます。



☆UPC-E のチェックディジットを出力する



UPC-E のチェックディジットを出力しない

設定モード OFF





設定モード ON

UPC-E を UPC-A 形式に変換するかどうかを設定します。  
「変換する」を選択した場合、12 桁で出力(システムキャラクタ/チェックディジット付加の場合)されます。



UPC-E を UPC-A の形式に変換する



☆UPC-E を UPC-A の形式に変換しない

設定モード OFF





設定モード ON

UPC-E のアドオンコードの読み取り許可/禁止を設定します。



UPC-E のアドオンコードの読み取りを許可する



☆UPC-E のアドオンコードの読み取りを禁止する

設定モード OFF





設定モード ON

前項で UPC-E のアドオンコードの読み取り許可を選択した場合、アドオンコード付きを必須条件とするかどうかを設定します。



UPC-E のアドオンコード付きのみ読み取る



☆UPC-E のアドオンコードを必須としない

設定モード OFF





---

## 7.4.5 JAN/EAN-8

---



設定モード ON

---

JAN/EAN-8 の読み取り許可/禁止を設定します。



☆JAN/EAN-8 読み取り許可



JAN/EAN-8 読み取り禁止

---

設定モード OFF





設定モード ON

JAN/EAN-8 のチェックディジットの出力を設定します。  
「出力しない」を選択した場合、データの最後のチェックディジットが削除されます。



☆JAN/EAN-8 のチェックディジットを出力する



JAN/EAN-8 のチェックディジットを出力しない

設定モード OFF





設定モード ON

JAN/EAN-8 を JAN/EAN-13 形式に変換するかどうかを設定します。  
「変換する」を選択した場合、13 桁で出力されます。



JAN/EAN-8 を JAN/EAN-13 の形式に変換する



☆JAN/EAN-8 を JAN/EAN-13 の形式に変換しない

設定モード OFF





設定モード ON

JAN/EAN-8 のアドオンコードの読み取り許可/禁止を設定します。



JAN/EAN-8 のアドオンコードの読み取りを許可する



☆JAN/EAN-8 のアドオンコードの読み取りを禁止する

設定モード OFF





設定モード ON

前項で JAN/EAN-8 のアドオンコードの読み取り許可を選択した場合、アドオンコード付きを必須条件とするかどうかを設定します。



JAN/EAN-8 のアドオンコード付きのみ読み取る



☆JAN/EAN-8 のアドオンコードを必須としない

設定モード OFF



---

## 7.4.6 JAN/EAN-13

---



設定モード ON

---

JAN/EAN-13 の読み取り許可/禁止を設定します。



☆JAN/EAN-13 読み取り許可



JAN/EAN-13 読み取り禁止

---

設定モード OFF





設定モード ON

JAN/EAN-13 のチェックディジットの出力を設定します。  
「出力しない」を選択した場合、データの最後のチェックディジットが削除されます。



☆JAN/EAN-13 のチェックディジットを出力する



JAN/EAN-13 のチェックディジットを出力しない

設定モード OFF





設定モード ON

JAN/EAN-13 のアドオンコードの読み取り許可/禁止を設定します。



JAN/EAN-13 のアドオンコードの読み取りを許可する



☆JAN/EAN-13 のアドオンコードの読み取りを禁止する

設定モード OFF







設定モード ON

前項で JAN/EAN-13 のアドオンコードの読み取り許可を選択した場合、アドオンコード付きを必須条件とするかどうかを設定します。



JAN/EAN-13 のアドオンコード付きのみ読み取る



☆JAN/EAN-13 のアドオンコードを必須としない

設定モード OFF



---

## 7.4.7 Code128/GS1-128

---



設定モード ON

---

Code128/GS1-128 の読み取り許可/禁止を設定します。



☆Code128/GS1-128 読み取り許可



Code128/GS1-128 読み取り禁止

---

設定モード OFF





## 設定モード ON

Code128 の読み取り可能桁数を設定します。

<b>One Discrete Length</b>	指定した桁数のみ読み取ります。
<b>Two Discrete Length</b>	指定した 2 種類の桁数のみ読み取ります。
<b>Length Within Range</b>	最小/最大で指定した範囲の桁数のみ読み取ります。
<b>Any Length</b>	桁数の制約なく読み取ります。

(設定例) 最小桁数を 3, 最大桁数を 12 に設定する場合

- ①「設定モード ON」を読み取る。
- ②「Length Within Range」を読み取る。
- ③数字バーコードの「0」を読み取る。
- ④数字バーコードの「3」を読み取る。
- ⑤数字バーコードの「1」を読み取る。
- ⑥数字バーコードの「2」を読み取る。
- ⑦「設定モード OFF」を読み取る。



One Discrete Length



Two Discrete Length



Length Within Range



☆Any Length

設定モード OFF



---

## 7.4.8 Code39

---



設定モード ON

---

Code39 の読み取り許可/禁止を設定します。



☆Code39 読み取り許可



Code39 読み取り禁止

---

設定モード OFF





設定モード ON

Code39 Full ASCII 変換の許可/禁止を設定します。



Code39 Full ASCII 変換許可



☆Code39 Full ASCII 変換禁止

設定モード OFF





設定モード ON

Code39 のチェックディジットの処理を設定します。



☆チェックディジットをチェックしない



チェックディジットをチェック&出力する



チェックディジットをチェック&出力しない

設定モード OFF





設定モード ON

Code39 のスタート/ストップキャラクタの出力を設定します。



Code39 のスタート/ストップを出力する



☆Code39 のスタート/ストップを出力しない

設定モード OFF





## 設定モード ON

Code39 の読み取り可能桁数を設定します。

<b>One Discrete Length</b>	指定した桁数のみ読み取ります。
<b>Two Discrete Length</b>	指定した 2 種類の桁数のみ読み取ります。
<b>Length Within Range</b>	最小/最大で指定した範囲の桁数のみ読み取ります。
<b>Any Length</b>	桁数の制約なく読み取ります。

(設定例) 桁数 6 または桁数 12 のみ読み取り可能に設定する場合

- ①「設定モード ON」を読み取る。
- ②「Two Discrete Length」を読み取る。
- ③数字バーコードの「0」を読み取る。
- ④数字バーコードの「6」を読み取る。
- ⑤数字バーコードの「1」を読み取る。
- ⑥数字バーコードの「2」を読み取る。
- ⑦「設定モード OFF」を読み取る。



One Discrete Length



Two Discrete Length



Length Within Range



☆Any Length

設定モード OFF





---

## 7.4.9 Code93

---



設定モード ON

---

Code93 の読み取り許可/禁止を設定します。



☆Code93 読み取り許可



Code93 読み取り禁止

---

設定モード OFF





## 設定モード ON

Code93 の読み取り可能桁数を設定します。

<b>One Discrete Length</b>	指定した桁数のみ読み取ります。
<b>Two Discrete Length</b>	指定した 2 種類の桁数のみ読み取ります。
<b>Length Within Range</b>	最小/最大で指定した範囲の桁数のみ読み取ります。
<b>Any Length</b>	桁数の制約なく読み取ります。

(設定例) 10 桁のみ読み取り可能に設定する場合

- ①「設定モード ON」を読み取る。
- ②「One Discrete Length」を読み取る。
- ③数字バーコードの「1」を読み取る。
- ④数字バーコードの「0」を読み取る。
- ⑤「設定モード OFF」を読み取る。



One Discrete Length



Two Discrete Length



Length Within Range



☆Any Length

設定モード OFF



---

## 7.4.10 NW-7(Codabar)

---



設定モード ON

---

NW-7(Codabar)の読み取り許可/禁止を設定します。



☆NW-7 読み取り許可



NW-7 読み取り禁止

---

設定モード OFF





設定モード ON

NW-7 のチェックディジットの処理を設定します。



☆チェックディジットをチェックしない



チェックディジットをチェック&出力する



チェックディジットをチェック&出力しない

設定モード OFF





設定モード ON

NW-7 のスタート/ストップキャラクタの出力を設定します。



NW-7 のスタート/ストップを出力する



☆NW-7 のスタート/ストップを出力しない

設定モード OFF





## 設定モード ON

NW-7 の読み取り可能桁数を設定します。

<b>One Discrete Length</b>	指定した桁数のみ読み取ります。
<b>Two Discrete Length</b>	指定した 2 種類の桁数のみ読み取ります。
<b>Length Within Range</b>	最小/最大で指定した範囲の桁数のみ読み取ります。
<b>Any Length</b>	桁数の制約なく読み取ります。

(設定例) 桁数 6 または桁数 14 のみ読み取り可能に設定する場合

- ①「設定モード ON」を読み取る。
- ②「Two Discrete Length」を読み取る。
- ③数字バーコードの「0」を読み取る。
- ④数字バーコードの「6」を読み取る。
- ⑤数字バーコードの「1」を読み取る。
- ⑥数字バーコードの「4」を読み取る。
- ⑦「設定モード OFF」を読み取る。



One Discrete Length



Two Discrete Length



Length Within Range



☆Any Length

設定モード OFF



---

### 7.4.11 Interleaved 2 of 5

---



設定モード ON

---

Interleaved 2 of 5 の読み取り許可/禁止を設定します。



☆Interleaved 2 of 5 読み取り許可



Interleaved 2 of 5 読み取り禁止

---

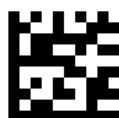
設定モード OFF





設定モード ON

Interleaved 2 of 5 のチェックディジットの処理を設定します。



☆ITF のチェックディジットをチェックしない



ITF のチェックディジットをチェック&出力する

設定モード OFF







## 設定モード ON

Interleaved 2 of 5 の読み取り可能桁数を設定します。

<b>One Discrete Length</b>	指定した桁数のみ読み取ります。
<b>Two Discrete Length</b>	指定した 2 種類の桁数のみ読み取ります。
<b>Length Within Range</b>	最小/最大で指定した範囲の桁数のみ読み取ります。
<b>Any Length</b>	桁数の制約なく読み取ります。

(設定例) 8 桁のみ読み取り可能に設定する場合

- ①「設定モード ON」を読み取る。
- ②「One Discrete Length」を読み取る。
- ③数字バーコードの「8」を読み取る。
- ④「設定モード OFF」を読み取る。



One Discrete Length



Two Discrete Length



Length Within Range



☆Any Length

設定モード OFF



---

## 7.4.12 Matrix 2 of 5

---



設定モード ON

---

Matrix 2 of 5 の読み取り許可/禁止を設定します。



Matrix 2 of 5 読み取り許可



☆Matrix 2 of 5 読み取り禁止

---

設定モード OFF





## 設定モード ON

Matrix 2 of 5 の読み取り可能桁数を設定します。

<b>One Discrete Length</b>	指定した桁数のみ読み取ります。
<b>Two Discrete Length</b>	指定した 2 種類の桁数のみ読み取ります。
<b>Length Within Range</b>	最小/最大で指定した範囲の桁数のみ読み取ります。
<b>Any Length</b>	桁数の制約なく読み取ります。

(設定例) 8 桁のみ読み取り可能に設定する場合

- ①「設定モード ON」を読み取る。
- ②「One Discrete Length」を読み取る。
- ③数字バーコードの「8」を読み取る。
- ④「設定モード OFF」を読み取る。



One Discrete Length



Two Discrete Length



Length Within Range



☆Any Length

設定モード OFF



---

### 7.4.13 GS1 DataBar 14

---



設定モード ON

---

GS1 DataBar 14(標準型)の読み取り許可/禁止を設定します。



☆GS1 DataBar 14 読み取り許可



GS1 DataBar 14 読み取り禁止

---

設定モード OFF





設定モード ON

GS1 DataBar 14 スタックシンボルの読み取り許可/禁止を設定します。



☆GS1 DataBar 14 Stacked 読み取り許可



GS1 DataBar 14 Stacked 読み取り禁止

設定モード OFF





設定モード ON

GS1 DataBar 14 AI(01)の出力を設定します。  
デフォルトでは AI(アプリケーション識別子)の(01)を出力します。カッコは出力されません。



☆GS1 DataBar 14 の AI(01)を出力する



GS1 DataBar 14 の AI(01)を出力しない

設定モード OFF



---

## 7.4.14 GS1 DataBar Expanded

---



設定モード ON

---

GS1 DataBar Expanded の読み取り許可/禁止を設定します。



☆GS1 DataBar Expanded 読み取り許可



GS1 DataBar Expanded 読み取り禁止

---

設定モード OFF





設定モード ON

GS1 DataBar Expanded スタックシンボルの読み取り許可/禁止を設定します。



☆GS1 DataBar Expanded Stacked 読み取り許可



GS1 DataBar Expanded Stacked 読み取り禁止

設定モード OFF







設定モード ON

GS1 DataBar Expanded AI(01)の出力を設定します。  
デフォルトでは AI(アプリケーション識別子)の(01)を出力します。カッコは出力されません。



☆GS1 DataBar Expanded の AI(01)を出力する



GS1 DataBar Expanded の AI(01)を出力しない

設定モード OFF



---

## 7.4.15 GS1 DataBar Limited

---



設定モード ON

---

GS1 DataBar Limited の読み取り許可/禁止を設定します。



☆GS1 DataBar DataBar Limited 読み取り許可



GS1 DataBar Expanded 読み取り禁止

---

設定モード OFF





設定モード ON

GS1 DataBar Limited AI(01)の出力を設定します。  
デフォルトでは AI(アプリケーション識別子)の(01)を出力します。カッコは出力されません。



☆GS1 DataBar Limited の AI(01)を出力する



GS1 DataBar Limited の AI(01)を出力しない

設定モード OFF



## 7.4.16 Composite

---



設定モード ON

---

Composite CC-A の読み取り許可/禁止を設定します。



Composite CC-A 読み取り許可



☆Composite CC-A 読み取り禁止

---

設定モード OFF





設定モード ON

Composite CC-B の読み取り許可/禁止を設定します。



Composite CC-B 読み取り許可



☆Composite CC-B 読み取り禁止

設定モード OFF





設定モード ON

Composite CC-C の読み取り許可/禁止を設定します。



Composite CC-C 読み取り許可



☆Composite CC-C 読み取り禁止

設定モード OFF



---

## 7.4.17 PDF417

---



設定モード ON

---

PDF417 の読み取り許可/禁止を設定します。



☆PDF417 読み取り許可



PDF417 読み取り禁止

---

設定モード OFF





設定モード ON

Micro PDF417 の読み取り許可/禁止を設定します。



☆Micro PDF417 読み取り許可



Micro PDF417 読み取り禁止

設定モード OFF





---

## 7.4.18 Data Matrix

---



設定モード ON

---

Data Matrix の読み取り許可/禁止を設定します。



☆Data Matrix 読み取り許可



Data Matrix 読み取り禁止

---

設定モード OFF





設定モード ON

長方形 Data Matrix の読み取り許可/禁止を設定します。



☆長方形 Data Matrix 読み取り許可



長方形 Data Matrix 読み取り禁止

設定モード OFF





設定モード ON

反転 Data Matrix の読み取り許可/禁止を設定します。  
本設定は Data Matrix の読み取りが許可されている場合に有効です。



☆反転 Data Matrix 読み取り許可



反転 Data Matrix 読み取り禁止

設定モード OFF



---

## 7.4.19 QR

---



設定モード ON

---

QR の読み取り許可/禁止を設定します。



☆QR 読み取り許可



QR 読み取り禁止

---

設定モード OFF





設定モード ON

反転 QR の読み取り許可/禁止を設定します。  
本設定は QR の読み取りが許可されている場合に有効です。



☆反転 QR 読み取り許可



反転 QR 読み取り禁止

設定モード OFF





設定モード ON

Micro QR の読み取り許可/禁止を設定します。



☆Micro QR 読み取り許可



Micro QR 読み取り禁止

設定モード OFF



## 7.5 データフォーマットの設定

### 7.5.1 シンボル ID



設定モード ON

シンボル ID の出力を設定します。

「付加する」を選択した場合、データの先頭にシンボル ID が付加されます。

**独自形式**      独自形式のシンボル ID を付加する

**AIM 形式**      AIM 形式のシンボル ID を付加する

シンボル ID の一覧は「8.5 シンボル ID 一覧」をご覧ください。プリフィックスと同時に付加する設定を行った場合は、プリフィックスの後ろに出力されます。



☆シンボル ID を付加しない



独自形式のシンボル ID を付加する



AIM 形式のシンボル ID を付加する

設定モード OFF



## 7.5.2 プリフィックス

---



設定モード ON

---

全てのシンボルを対象として、データ先頭に付与するプリフィックスを設定します。  
デフォルトは「プリフィックス無し」です。

(設定例) プリフィックスに“ABC”を設定する場合

- ①「設定モード ON」を読み取る。
- ②「全シンボル用プリフィックス設定」を読み取る。
- ③ASCII バーコードの「A」を読み取る。
- ④ASCII バーコードの「B」を読み取る。
- ⑤ASCII バーコードの「C」を読み取る。
- ⑥「設定モード OFF」を読み取る。



☆全シンボル用プリフィックス無し



全シンボル用プリフィックス設定

---

設定モード OFF







## 設定モード ON

特定のシンボルを対象として、データ先頭に付与するプリフィックスを設定します。  
デフォルトは「プリフィックス無し」です。  
全シンボル用と特定シンボル用を同時に設定した場合は、特定シンボル用が優先されます。

(設定例) QR のプリフィックスに“80”を設定する場合

- ①「設定モード ON」を読み取る。
- ②「特定シンボル用プリフィックス設定」を読み取る。
- ③シンボルバーコードの「QR」を読み取る。
- ④数字バーコードの「8」を読み取る。
- ⑤数字バーコードの「0」を読み取る。
- ⑥「設定モード OFF」を読み取る。



## ☆特定シンボル用プリフィックス無し



## 特定シンボル用プリフィックス設定

設定モード OFF



### 7.5.3 サフィックス

---



設定モード ON

---

全てのシンボルを対象として、データ終端に付与するサフィックスを設定します。  
デフォルトは「サフィックス無し」です。

(設定例) サフィックスに“XYZ”を設定する場合

- ①「設定モード ON」を読み取る。
- ②「全シンボル用サフィックス設定」を読み取る。
- ③ASCII バーコードの「X」を読み取る。
- ④ASCII バーコードの「Y」を読み取る。
- ⑤ASCII バーコードの「Z」を読み取る。
- ⑥「設定モード OFF」を読み取る。



☆全シンボル用サフィックス無し



全シンボル用サフィックス設定

---

設定モード OFF





## 設定モード ON

特定のシンボルを対象として、データ終端に付与するサフィックスを設定します。  
デフォルトは「サフィックス無し」です。  
全シンボル用と特定シンボル用を同時に設定した場合は、特定シンボル用が優先されます。

(設定例) QR のサフィックスに「F1 キー」を設定する場合

- ①「設定モード ON」を読み取る。
- ②「特定シンボル用サフィックス設定」を読み取る。
- ③シンボルバーコードの「QR」を読み取る。
- ④ファンクションキーバーコードの「F1」を読み取る。
- ⑤「設定モード OFF」を読み取る。



## ☆特定シンボル用サフィックス無し



## 特定シンボル用サフィックス設定

設定モード OFF



## 7.5.4 終端キャラクタ

---



設定モード ON

---

データの一番最後に付加される終端キャラクタを設定します。  
サフィックスが設定されている場合は、サフィックスの後ろに付加されます。



なし



☆CR (0x0D)



CR/LF (0x0D/0x0F)



TAB (0x09)

---

設定モード OFF



## 7.5.5 Caps Lock

---



設定モード ON

---

Caps Lock の状態を設定します。

「Caps Lock ON」に設定すると、キーボードの Caps Lock が固定されたのと同様の状態になり、データに含まれる英小文字と英大文字が変換されます。



☆Caps Lock OFF



Caps Lock ON

---

設定モード OFF



## 7.5.6 大文字/小文字変換

---



設定モード ON

---

大文字/小文字変換を設定します。  
バーコードデータに含まれる英字が設定内容に従って出力されます。



☆変換しない



常に大文字で出力する



常に小文字で出力する

---

設定モード OFF



## 7.5.7 GSキャラクタ変換

---



設定モード ON

---

可変長 AI のセパレータである GS(0x1D)を他のキャラクタに置き換えて出力することができます。デフォルトは「変換無し」です。

(設定例) GS(0x1D)を“#”に変換する場合

- ①「設定モード ON」を読み取る。
- ②「GS を変換する」を読み取る。
- ③ASCII バーコードの「#」を読み取る。
- ④「設定モード OFF」を読み取る。



☆GS を変換しない



GS を変換する

---

設定モード OFF



## 7.5.8 先頭データの削除

---



設定モード ON

---

バーコードデータの先頭から、設定した桁数を削除することができます。設定可能範囲は 0～20 桁です。

(設定例) 全シンボルを対象として先頭から 2 桁目までを削除する場合

- ①「設定モード ON」を読み取る。
- ②「全シンボル用先頭データ削除」を読み取る。
- ③数字バーコードの「2」を読み取る。
- ④「設定モード OFF」を読み取る。

(設定例) Code128 を対象として先頭から 4 桁目までを削除する場合

- ①「設定モード ON」を読み取る。
- ②「特定シンボル用先頭データ削除」を読み取る。
- ③シンボルバーコードの「Code128」を読み取る。
- ④数字バーコードの「4」を読み取る。
- ⑤「設定モード OFF」を読み取る。



全シンボル用先頭データ削除



特定シンボル先頭データ削除

---

設定モード OFF





## 7.5.9 終端データの削除

---



設定モード ON

---

バーコードデータの終端から、設定した桁数を削除することができます。設定可能範囲は 0～20 桁です。

(設定例) 全シンボルを対象として終端から 3 桁目までを削除する場合

- ①「設定モード ON」を読み取る。
- ②「全シンボル用終端データ削除」を読み取る。
- ③数字バーコードの「3」を読み取る。
- ④「設定モード OFF」を読み取る。

(設定例) Code39 を対象として終端から 5 桁目までを削除する場合

- ①「設定モード ON」を読み取る。
- ②「特定シンボル用終端データ削除」を読み取る。
- ③シンボルバーコードの「Code39」を読み取る。
- ④数字バーコードの「5」を読み取る。
- ⑤「設定モード OFF」を読み取る。



全シンボル用終端データ削除



特定シンボル先頭データ削除

---

設定モード OFF



## 8. 付録

### 8.1 数字バーコード



0



1



2



3



4



5



6



7



8



9

## 8.2 シンボルバーコード



UPC-A



UPC-E



JAN/EAN-8



JAN/EAN-13



Code 128



Code 39



Code 93



NW-7



Interleaved 2 of 5



Matrix 2 of 5



GS1 DataBar 14



GS1 DataBar 14 Stacked



GS1 DataBar Expanded



GS1 DataBar Expanded Stacked



GS1 DataBar Limited



Composite CC-A



Composite CC-B



Composite CC-C



PDF417



Micro PDF417



Data Matrix











QR







Micro QR





## 8.3 ASCIIバーコード





HEX	Decimal	ASCII	Function Key Mapping		
			Disable	Control-Key	Alt+Unicode
00 (NUL)	0	 NUL	Disable	Ctrl+@	Alt + 000
01 (SOH)	1	 SOH	Home	Ctrl+A	Alt + 001
02 (STX)	2	 STX	End	Ctrl+B	Alt + 002
03 (ETX)	3	 ETX	Up Arrow	Ctrl+C	Alt + 003





HEX	Decimal	ASCII	Function Key Mapping		
			Disable	Control-Key	Alt+Unicode
04 (EOT)	4	 EOT	Down Arrow	Ctrl+D	Alt + 004
05 (ENQ)	5	 ENQ	Left Arrow	Ctrl+E	Alt + 005
06 (ACK)	6	 ACK	Right Arrow	Ctrl+F	Alt + 006
07 (BEL)	7	 BEL	Null	Ctrl+G	Alt + 007





HEX	Decimal	ASCII	Function Key Mapping		
			Disable	Control-Key	Alt+Unicode
08	8	 BS	Backspace	Backspace	Alt + 008
09	9	 TAB	TAB	TAB	Alt + 009
0A (LF)	10	 LF	Null	Ctrl+J	Alt + 010
0B (VT)	11	 VT	Null	Ctrl+K	Alt + 011











HEX	Decimal	ASCII	Function Key Mapping		
			Disable	Control-Key	Alt+Unicode
0C (FF)	12	 FF	Null	Ctrl+L	Alt + 012
0D (CR)	13	 CR	Enter	Enter	Enter
0E (SO)	14	 SO	Page Up	Ctrl+N	Alt + 014
0F (SI)	15	 SI	Page Down	Ctrl+O	Alt + 015





HEX	Decimal	ASCII	Function Key Mapping		
			Disable	Control-Key	Alt+Unicode
10 (DLE)	16	 DLE	F11	Ctrl+P	Alt + 016
11 (DC1)	17	 DC1	Null	Ctrl+Q	Alt + 017
12 (DC2)	18	 DC2	Null	Ctrl+R	Alt + 018
13 (DC3)	19	 DC3	Null	Ctrl+S	Alt + 019





HEX	Decimal	ASCII	Function Key Mapping		
			Disable	Control-Key	Alt+Unicode
14 (DC4)	20	 DC4	Null	Ctrl+T	Alt + 020
15 (NAK)	21	 NAK	F12	Ctrl+U	Alt + 021
16 (SYN)	22	 SYN	F1	Ctrl+V	Alt + 022
17 (ETB)	23	 ETB	F2	Ctrl+W	Alt + 023

HEX	Decimal	ASCII	Function Key Mapping		
			Disable	Control-Key	Alt+Unicode
18 (CAN)	24	 CAN	F3	Ctrl+X	Alt + 024
19 (CAN)	25	 EM	F4	Ctrl+Y	Alt + 025
1A (SUB)	26	 SUB	F5	Ctrl+Z	Alt + 026
1B (ESC)	27	 ESC	F6	Ctrl+[	Alt + 027





HEX	Decimal	ASCII	Function Key Mapping		
			Disable	Control-Key	Alt+Unicode
1C (FS)	28	 FS	F7	Ctrl+¥	Alt + 028
1D (GS)	29	 GS	F8	Ctrl+] ]	Alt + 029
1E (US)	30	 RS	F9	Ctrl+^	Alt + 030
1F (US)	31	 US	F10	Ctrl+_	Alt + 031





HEX	Decimal	ASCII	
20	32	SPACE	
21	33	!	
22	34	"	
23	35	#	





HEX	Decimal	ASCII	
24	36	\$	
25	37	%	
26	38	&	
27	39	'	





HEX	Decimal	ASCII	
28	40	(	
29	41	)	
2A	42	*	
2B	43	+	











HEX	Decimal	ASCII	
2C	44	,	
2D	45	-	
2E	46	.	
2F	47	/	





HEX	Decimal	ASCII	
30	48	0	
31	49	1	
32	50	2	
33	51	3	





HEX	Decimal	ASCII	
34	52	4	
35	53	5	
36	54	6	
37	55	7	

HEX	Decimal	ASCII	
38	56	8	
39	57	9	
3A	58	:	
3B	59	;	





HEX	Decimal	ASCII	
3C	60	<	
3D	61	=	
3E	62	>	
3F	63	?	





HEX	Decimal	ASCII	
40	64	@	
41	65	A	
42	66	B	
43	67	C	





HEX	Decimal	ASCII	
44	68	D	
45	69	E	
46	70	F	
47	71	G	





HEX	Decimal	ASCII	
48	72	H	
49	73	I	
4A	74	J	
4B	75	K	











HEX	Decimal	ASCII	
4C	76	L	
4D	77	M	
4E	78	N	
4F	79	O	





HEX	Decimal	ASCII	
50	80	P	
51	81	Q	
52	82	R	
53	83	S	





HEX	Decimal	ASCII	
54	84	T	
55	85	U	
56	86	V	
57	87	W	

HEX	Decimal	ASCII	
58	88	X	
59	89	Y	
5A	90	Z	
5B	91	[	





HEX	Decimal	ASCII	
5C	92	\	
5D	93	]	
5E	94	^	
5F	95	_	





HEX	Decimal	ASCII	
60	96	,	
62	97	a	
62	98	b	
63	99	c	





HEX	Decimal	ASCII	
64	100	d	
65	101	e	
66	102	f	
67	103	g	





HEX	Decimal	ASCII	
68	104	h	
69	105	i	
6A	106	j	
6B	107	k	







HEX	Decimal	ASCII	
6C	108	l	
6D	109	m	
6E	110	n	
6F	111	o	

HEX	Decimal	ASCII	
70	112	p	
71	113	q	
72	114	r	
73	115	s	

HEX	Decimal	ASCII	
74	116	t	
75	117	u	
76	118	v	
77	119	w	

HEX	Decimal	ASCII	
78	120	x	
79	121	y	
7A	122	z	
7B	123	{	

HEX	Decimal	ASCII	
7C	124		
7D	125	}	
7E	126	~	
7F	127	Delete	

---

## 8.4 ファンクションキーバーコード

---



Insert



Delete



Home



End



Up Arrow



Down Arrow



Left Arrow



Right Arrow



Shift



ESC



Ctrl



Alt



Page Up



Page Down



F1



F2



F3



F4





F5



F6



F7



F8



F9



F10



F11



F12

---

## 8.5 バージョン番号出力

---

本機のバージョン番号を出力します。



バージョン番号出力

## 8.6 シンボルID一覧

・独自形式 ID は 1~2 文字で示されます。

・AIM コード ID キャラクタは、3 文字で示されます。

1 文字目: "]" (固定)

2 文字目: 表 A-1 のアルファベット

3 文字目: 表 A-2 の数字 (オプション値)

例) ]E0

表 A-1

シンボル種別	独自形式 ID	AIM 形式 ID
UPC-A	A	E
UPC-E	E	E
JAN/EAN-8	FF	E
JAN/EAN-13	F	E
Code128	K	C
Code39	M	A
Code93	L	G
NW-7(Codabar)	N	F
Interleaved 2 of 5	I	I
Matrix 2 of 5	G	X
GS1 DataBar 14	RS	e
GS1 DataBar Expanded	RX	e
GS1 DataBar Limited	RL	e
Composite CC-A	m	e
Composite CC-B	n	e
Composite CC-C	i	e
PDF417	r	L
Micro PDF417	s	L
Data Matrix	t	d
QR	u	Q
Micro QR	j	Q

表 A-2

シンボル種別	オプション値	意味
Code39	0	チェックディジットのチェックを行っていない
	1	チェックディジットをチェックした
	3	チェックディジットをチェックし、削除した
	4	チェックディジットのチェックを行っていない(フルアスキー変換有効)
	5	チェックディジットをチェックした(フルアスキー変換有効)
	7	チェックディジットをチェックし、削除した(フルアスキー変換有効)
Code128, GS1-128	0	FNC1 が先頭がない
	1	FNC1 が先頭にある(GS1-128)
	2	FNC1 が 2 番目にある
JAN/EAN/UPC	0	JAN/EAN-13, UPC-A, UPC-E のデータである
	3	UPC-A, UPC-E, JAN/EAN-13 のアドオンコード付きデータである
	4	JAN/EAN-8 のデータである
NW7(Codabar)	0	チェックディジットのチェックを行っていない
	2	チェックディジットをチェックした
	6	チェックディジットをチェックし、削除した
Code93	0	(オプション値固定)
Interleaved 2 of 5	0	チェックディジットのチェックを行っていない
	1	チェックディジットをチェックした
	3	チェックディジットをチェックし、削除した
Matrix 2 of 5	M	(オプション値固定)
GS1 DataBar	0	(オプション値固定)
Composite	0	(オプション値固定)
PDF417	0	PDF417 1994 仕様に準じてリーダーが設定
	1	ECI 仕様に準じてリーダーが設定、全データキャラクタ 92 を 2 重にする
	2	ECI 仕様に準じてリーダーが設定、全データキャラクタ 92 を 2 重にしない
Micro PDF417	0	PDF417 1994 仕様に準じてリーダーが設定
	1	ECI 仕様に準じてリーダーが設定、全データキャラクタ 92 を 2 重にする
	2	ECI 仕様に準じてリーダーが設定、全データキャラクタ 92 を 2 重にしない
	3	Code128 エミュレーション: 1 番目の位置に FNC1
	4	Code128 エミュレーション: 最初の文字又は数字組合せの後に FNC1
	5	Code128 エミュレーション: FNC1 なし
Data Matrix	0	ECC 000~ECC 140
	1	ECC 200
	2	ECC 200, 1 or 5 番目の位置に FNC1 がくる
	3	ECC 200, 2 or 6 番目の位置に FNC1 がくる
	4	ECC 200, ECI プロトコルが実行される
	5	ECC 200, 1 or 5 番目の位置に FNC1, ECI プロトコルが実行される
	6	ECC 200, 2 or 6 番目の位置に FNC1, ECI プロトコルが実行される
QR / Micro QR	0	Model 1 シンボル
	1	Model 2 シンボル、ECI プロトコルは実行されない
	2	Model 2 シンボル、ECI プロトコルが実行される
	3	Model 2 シンボル、ECI プロトコルは実行されない、1 番目の位置に FNC1
	4	Model 2 シンボル、ECI プロトコルは実行される、1 番目の位置に FNC1
	5	Model 2 シンボル、ECI プロトコルは実行されない、2 番目の位置に FNC1
	6	Model 2 シンボル、ECI プロトコルは実行される、2 番目の位置に FNC1

## 8.7 設定一覧と初期値

カテゴリ	項目	設定値	
システム設定	スキャンモード	自動検知モード	
	自動検知モード感度	標準感度	
	エイミング	常時 ON	
	イルミネーション照度	最大	
	ブザーの設定	ON	
	ブザー周波数	2730Hz	
	デコードエリア	100%	
	ベリファイ回数	2 回	
	デコードタイムアウト	3,000msec	
	同一バーコード 2 度読みタイムアウト	300msec	
インターフェース設定	USB インターフェースの設定	HID キーボード	
	HID 制御文字	コントロールキーモード	
	キーボード言語	日本	
	文字コード	Shift-JIS (Excel, メモ帳)	
シンボル設定	UPC-A	読み取り	許可
		システムキャラクタ	付加する
		チェックディジット	出力する
		JAN/EAN-13 形式に変換	変換しない
		アドオンコード読み取り	禁止
		アドオンコード条件	必須としない
	UPC-E	読み取り	許可
		システムキャラクタ	付加する
		チェックディジット	出力する
		UPC-A 形式に変換	変換しない
		アドオンコード読み取り	禁止
		アドオンコード条件	必須としない
	JAN/EAN-8	読み取り	許可
		チェックディジット	出力する
		JAN/EAN-13 形式に変換	変換しない
		アドオンコード読み取り	禁止
		アドオンコード条件	必須としない
	JAN/EAN-13	読み取り	許可
		チェックディジット	出力する
		アドオンコード読み取り	禁止
		アドオンコード条件	必須としない
	Code128/GS1-128	読み取り	許可
		読み取り可能桁数	Any Length
	Code39	読み取り	許可
		Full ASCII の読み取り	禁止
		チェックディジット	チェックしない
		スタート/ストップキャラクタ	出力しない
		読み取り可能桁数	Any Length
Code93	読み取り	許可	
	読み取り可能桁数	Any Length	
NW-7 (Codabar)	読み取り	許可	
	チェックディジット	チェックしない	
	チェックディジットの計算方法	モジュラス 16	
	スタート/ストップキャラクタ	出力しない	
	読み取り可能桁数	Any Length	

シンボル設定	Interleaved 2 of 5	読み取り	許可
		チェックディジット	チェックしない
		読み取り可能桁数	Any Length
	Matrix 2 of 5	読み取り	禁止
		読み取り可能桁数	Any Length
	GS1 DataBar 14	読み取り	許可
		スタックシンボル読み取り	許可
		AI(01)の出力	出力する
	GS1 DataBar Expanded	読み取り	許可
		AI(01)の出力	出力する
	Composite	CC-Aの読み取り	禁止
		CC-Bの読み取り	禁止
		CC-Cの読み取り	禁止
	PDF417	読み取り	許可
		Micro PDF417の読み取り	許可
	Data Matrix	読み取り	許可
		長方形シンボルの読み取り	許可
		反転シンボルの読み取り	許可
QR	読み取り	許可	
	反転シンボルの読み取り	許可	
	Micro QRの読み取り	許可	
データフォーマットの 設定	シンボル ID		付加しない
	全シンボル用プリフィックス		なし
	特定シンボル用プリフィックス		なし
	全シンボル用サフィックス		なし
	特定シンボル用サフィックス		なし
	終端キャラクタ		CR (0x0D)
	Caps Lock		OFF
	大文字/小文字変換		変換しない
	GS1 キャラクタ変換		変換しない
	先頭データの削除		削除しない
	終端データの削除		削除しない

---

AMX-845UB / AMX-845RS

ユーザーズマニュアル

---

2025年3月14日 第2版発行

Copyright©2022-2025 Aimex Corporation.

**アイメックス株式会社**